

令和4年度職員採用試験（大学卒業程度）  
衛生（衛生一般）専門記述試験（4.6.19）

次の2つの課題のうち、いずれか1つに解答しなさい。

＝ 課 題 1 ＝

○10年後を見据えた食品の安全・安心の確保対策について

近年、食品の製造、流通などが大量化、広域化、また多様化する中で、広島県では、食品の安全・安心を確保するために、「食品の安全に関する基本方針及び推進プラン（\*）」（以下「プラン」という。）を策定し、様々な施策を総合的に推進しています。

プランを推進することで、食品を取り巻く様々な課題が少しずつ改善されてきている一方で、消費者の食品に対する不安意識は依然として残っている状況です。

そこで、これから10年後を見据えて、安全な食品が安定的に提供されるとともに、県民が安心して食品を選び、食べることができる社会を構築していくために、食品衛生対策の現状及び課題について述べた上で、今後どのような対策を講じて取り組んでいくべきか、次の用語を参考にして、あなたの考えを述べなさい。

【用語】

衛生管理，危機管理，食品表示，リスクコミュニケーション

（\*）「食品の安全に関する基本方針及び推進プラン」

県内における食品の生産から製造・加工、流通、消費に至る食品の安全確保を目的として、広島県が平成27年3月に「基本的な指針」及び「食品安全対策上の施策と具体的な取組」を取りまとめたものであり、令和3年3月に内容を改正し、現在、対策を推進中である。

＝ 課 題 2 ＝

○カーボンニュートラルな地域社会の構築について

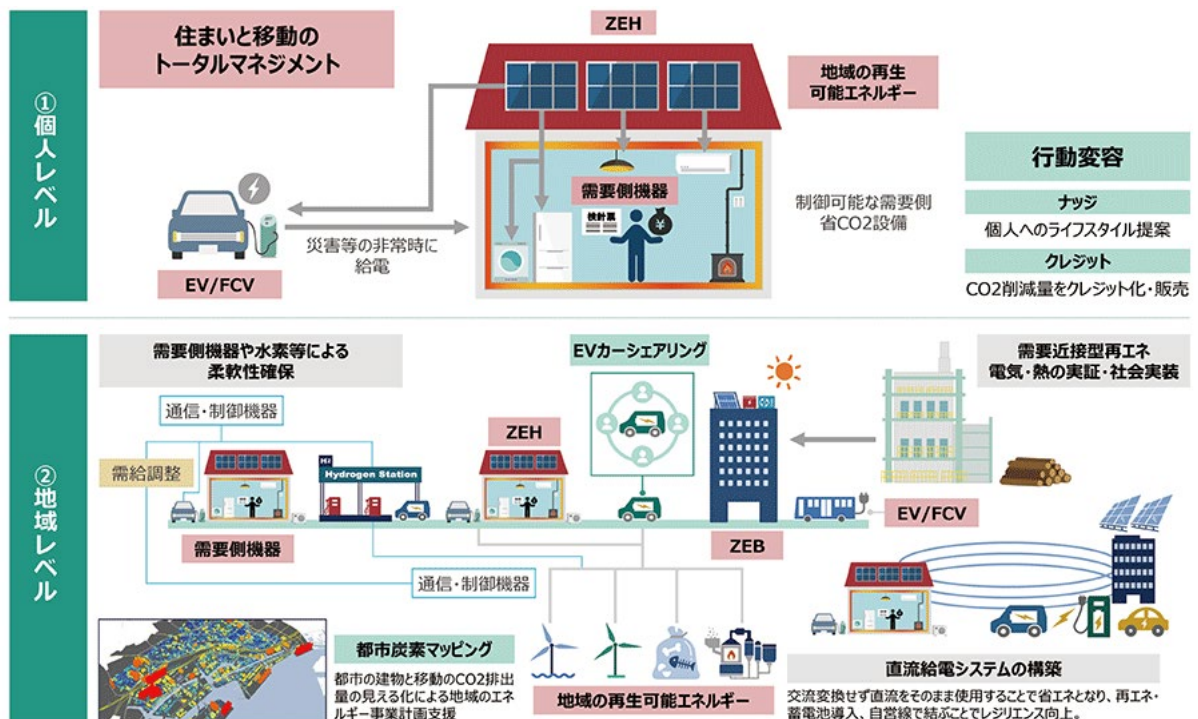
パリ協定が2020年から本格運用を開始しました。気候危機とも言われる気候変動問題への対応として、国内外で、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた動きが始まりつつあります。

2020年10月26日、日本政府は、我が国として2050年までに、温室効果ガスの排出を全体として実質的にゼロにする、すなわちカーボンニュートラルを目指すことを宣言しました。

国内では、地方自治体によるゼロカーボンシティの宣言が広がり続けています。2021年3月18日、広島県においても、2050年温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指して、県民、事業者など多様な主体が一緒になって取組を進められるよう、「みんなで挑戦 未来につながる 2050ひろしまネット・ゼロカーボン宣言」を行いました。

こうした状況を踏まえ、私たち一人ひとりのライフスタイルを脱炭素化していくために、広島県として、どのような取り組みが必要か、下記の図や図中のキーワードを参考に、あなたの考えを具体的に述べなさい。

ライフスタイルを脱炭素化するための取組



(出典：令和3年版環境白書)